

第11回ひまわり大運動会

平成25年9月10日(火)中央公民館にて第11回ひまわり大運動会を開催致しました。今年も総勢75名の参加。パン食い競走にでかパン競走、そして組対抗リレー…。趣向をこらした応援合戦もあり、本格的な競技に足腰の痛いことも、杖も忘れ、楽しまれた1日となりました。

- 競技種目
- ・パン食い競走
 - ・障害物競走
 - ・いろいろ競走
 - ・玉入れ
 - ・でかパン競走
 - ・組対抗リレー
 - ・組職員リレー



なかなか入らず悪戦苦闘

久しぶりに走ったなあ～



黄組

優勝は赤組

《赤組団長コメント》
初団長を任せ緊張しましたが、職員、御利用者様の一体感に助けられ、見事優勝でき、絆が深まりました。



優勝チームには、おひとりおひとりに金メダルの授与

《黄組団長コメント》
一昨年ぶりの参加で、まさかの『応援団長』。「えっ!!」と驚きましたが、当日はお客様のがんばりや笑顔を拝見し、心の底から楽しく応援することができました!



準備運動もしっかりと!



青組



赤組強いね～。



いろいろ競走
あわてず、あわてず…



《青組団長コメント》
時間が経つのも忘れて、青組一致団結して競技に挑んだ運動会でした。結果及ばずも、皆様の心に最高の思い出として残れば幸いです。



でかパン競走



玉入れ



パン食い競走

- ＊ 昼食 ＊
- 豚汁
 - 助六寿司



フレーフレー青組

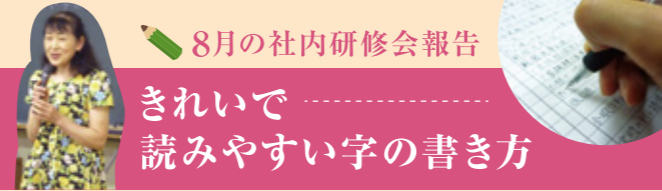
ひまわり

10月号



ひまわり秋の大運動会

8月の社内研修会報告「きれいで読みやすい字の書き方」
米寿のお祝い／「万人幸福の菜」の勉強会
致知出版35周年記念講演会に参加／研修会



8月の社内研修会報告

きれいで読みやすい字の書き方

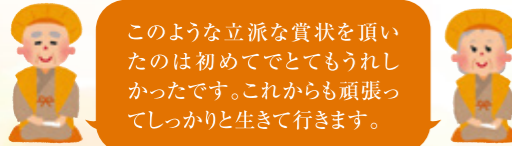
現 在女性センターで指導されている伊藤光子先生をお招きして「きれいで読みやすい字の書き方」について講義頂きました。また実際現場で使用している介護記録を用いて先生の手本をもとに演習も行い、一人一人、自分の字と向き合いました。先生のアドバイスを伺いながら書く字は自分の字ではないと思う程、きれいに書けたという感想も多く聞かれました。字はその人の姿を表わすといえますので、読み手が気持ちよく読める字を書ける様心掛けたいと思います。伊藤先生ありがとうございました。



米寿のお祝い



関 孝子 様 大川 のぶ子 様



このような立派な賞状を頂いたのは初めてでとてもうれしかったです。これからも頑張っ てしっかりと生きていきます。



鈴木 喜美子 様 齋藤 孝助 様

今年には四名の方が米寿を迎えられ、鶴岡市より賀詞の贈呈式が行われました。米寿を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

「万人幸福の菜」の勉強会

朝礼で輪読している「万人幸福の菜」
「難しいんです！
毎日読んでいても・・・」
年に三、四回勉強会を行っております。



第五条

「夫婦は二対の反射鏡」

夫婦はいつも向かいあった二対の鏡である。第四条の「人は鏡、万象はわが師」とも通じるところがある。夫婦もまた、相手と直したい(高めたい)と思う時には、まず自分を直すこと、自分をみがけよいのである。相手を改めさせようという気持ち、おこないは間違いである。また家庭円満、健康で発展するためには、すべてが夫婦の心の一致しているかにかかっている。夫婦の心が致しびつたりと仲良く過ごせば、その子供は親よりも大きく成長するものである。



研修会

木鶏勉強会

日時：10月21日(月)・22日(火)
18:30~20:00
場所：にこ♥ふる

ピーエムシー研修

日時：10月29日(火)・30日(水)
9:30~17:30
場所：にこ♥ふる

10月社内研修会

「映画鑑賞」「おしん」
場所：まちキネ



11月社内研修会

作品作り 予定

致知出版 35周年記念 講演会に参加



9月14日(土) ホテルオークラ東京にて「致知出版35周年記念パーティー」に参加。総勢1400名の方が参加され全員が会場に入らず、別室にモニターを用意しなければならないほどでした。

JAL名誉会長「稲盛和夫」様、文部科学大臣「下村博文」様、鶴岡市出身の上智大学名誉教授「渡部昇一」様、アサヒビール株式会社名誉顧問「中條高德」様など、著名人も多数来賓として迎えられ、刺激的であり特別な時間を過ごして参りました。なかでも、稲盛様の講演会では人が生きて行く上で必ず大切にしなければならない「出会い」が数多くあるという事、また、稲盛様自身ここまで生きて来た中で「出会い」についてわかりやすく丁寧にお話されておりました。その後のパーティーでは著名人の方との距離もグッと縮まり、話される表情、立居振舞など近くで見ることができたのですが、世の成功者が自分と異なる部分はなんだろう?と考えた時、我欲を捨て「謙虚」に生きているように感じられました。ここで感じた「謙虚さ」を自分も大切にしていかなければと思いました。